

# 「2024年版 EDINET タクソノミ（案）」に対する コメントの概要及び金融庁の考え方

No	タクソノミ名等	項目	コメントの概要	金融庁の考え方
1	開示府令タクソノミ	タクソノミ要素	<p>人的資本の多様性に関する指標の開示につき詳細タグ付け対象となっている項目のうち、「男性労働者の育児休業取得率」には、下記のとおり適用する法律ごとに3種類の算定方法があります。算定方法によって取得率が異なると考えられるため、提出会社の数値につき、算定方法ごとにタグ付けを行う取扱いとすることを要望します。</p> <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律施行規則」(平成3年労働省令第 25号)第 71 条の4第1号</li> <li>・「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律施行規則」(平成3年労働省令第 25号)第 71 条の4第2号</li> <li>・「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」(平成 27 年法律第 64 号)の規定</li> </ul>	<p>御意見を踏まえ、「男性労働者の育児休業取得率」につき算定方法ごとのタグ付けとするため、タクソノミ要素を追加及び変更しました。また、ガイドラインに説明を追加しました(『EDINET タクソノミ概要説明』の「2-5-2-5 サステナビリティに関する考え方及び取組」を御参照。)</p>
2	開示府令タクソノミ	タクソノミ要素	<p>新規に追加された要素である「温室効果ガス排出量」のデータ型については、「ghgEmissionsItemType」が XBRL 仕様として標準で用意されています。公開草案において示された「decimalItemType」ではなく、当該標準のデータ型を使用すべきであると提案します。</p>	<p>御意見を踏まえ、タクソノミ要素のデータ型を変更しました。</p>

No	タクソミ名等	項目	コメントの概要	金融庁の考え方
3	開示府令タクソミ	タクソミ要素	「サステナビリティに関する考え方及び取組」にはガバナンス、戦略等の段落ごとに「他の記載への参照」タグが用意されていますが、「サステナビリティに関する考え方及び取組」項目に対し「他の記載への参照」タグが用意されていません。実際には「サステナビリティに関する考え方及び取組」項目に対し他の記載への参照もなされているため、そのための「他の記載への参照」タグを用意することを提案します。	御意見を踏まえ、「サステナビリティに関する考え方及び取組」項目に対し「他の記載への参照」タグを追加しました。
4	開示府令タクソミ	ガイドラインへの追加説明	「EDINET タクソミの概要説明(案)」の「2-5-2-5 サステナビリティに関する考え方及び取組」につき、「温室効果ガス総排出量」について、温室効果ガス総排出量を表形式で記載している場合、当該情報は詳細タグ付け対象とされていますが、「スコープ2の温室効果ガス総排出量」を、ロケーション基準とマーケット基準による数値を両方記載している場合のタグ付けの取扱いについて明確にすることを提案します。	提出会社が選択したどちらか一方の基準による数値とタグ付けを行い、タグ付けをしなかった基準の数値は提出者別タクソミとして拡張することができる旨を、ガイドラインに記載しました(『EDINET タクソミ概要説明』の「2-5-2-5 サステナビリティに関する考え方及び取組」を御参照。)
5	開示府令タクソミ	タクソミ要素	温室効果ガス総排出量のタグ付けにおいて、「スコープ1の温室効果ガス総排出量」及び「スコープ2の温室効果ガス総排出量」が要素として用意されていますが、各数値を開示せず合計額を開示している事例もあることから、「スコープ1及び2の温室効果ガス総排出量」の要素を用意することを提案します。	御意見を踏まえ、タクソミ要素を追加しました。

No	タクソミ名等	項目	コメントの概要	金融庁の考え方
6	開示府令タクソミ	ガイドラインへの追加説明	温室効果ガス総排出量のタグ付けにおける「連結グループ」のディメンション要素の選択について、提出会社が連結財務諸表を作成していない場合や、最上位親会社以外の連結財務諸表作成会社の場合など、取扱いを明確にすることを提案します。	提出会社の数値を「連結グループ」で設定しタグ付けする旨を、ガイドラインに記載しました(『EDINET タクソミ概要説明』の「2-5-2-5 サステナビリティに関する考え方及び取組」を御参照。)
7	開示府令タクソミ	ガイドラインへの追加説明	<p>『EDINET タクソミ概要説明』(ガイドライン)において、温室効果ガス総排出量を複数年記載する場合には、それぞれの数値についてタグ付けする旨、及び基準年を記載する場合には、基準年を表すコンテキストが存在する場合はタグ付けする旨が記載されていますが、以下の場合のコンテキストの取扱いにつき、明確にすることを提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 温室効果ガス総排出量の算定期間と事業年度が一致しない場合(例えば、算定期間が2022年1月～12月であるのに対し事業年度は2022年4月～2023年3月である場合)のコンテキストの取扱い。</li> <li>・ 温室効果ガス総排出量数値が複数年記載されている場合のコンテキストの取扱い。また、その場合の「基準年」のコンテキストの取扱い。</li> </ul>	<p>「温室効果ガス総排出量」のコンテキストの選択につき、温室効果ガス排出量の算定期間の末日が属する事業年度のコンテキストとタグ付けを行う旨を、ガイドラインに記載しました(『EDINET タクソミ概要説明』の「2-5-2-5 サステナビリティに関する考え方及び取組」を御参照。)。なお、コメントの例の場合については、2023年3月期を選択します。</p> <p>また、コンテキストが存在しない場合でも拡張することにより、タグ付けが可能となっている旨を、ガイドラインに記載しました(『EDINET タクソミ概要説明』の「2-5-2-5 サステナビリティに関する考え方及び取組」を御参照。)</p>

No	タクソミ名等	項目	コメントの概要	金融庁の考え方
8	開示府令タクソミ	ガイドラインへの追加説明	「人材の育成及び社内環境整備に関する方針に関する指標の内容並びに当該指標を用いた目標及び実績」における規定要素である「目標数値」「実績数値」の単位は、「指標の単位」要素の値でとることになるため、この2要素のタグ付け設定は decimals="0" scale="0" unitRef="pure" という理解となるのか、ガイドラインへの記載を提案します。	ご指摘のタグ付け設定に関しては貴見のとおりです。ガイドラインに説明を追加しました(『EDINET タクソミ概要説明』の「2-5-2-5 サステナビリティに関する考え方及び取組」を御参照。)
9	開示府令タクソミ	ガイドラインへの追加説明	新たにタグ付け対象となった「報酬関連情報」につき、『EDINET タクソミ概要説明』(ガイドライン)への記載がありません。ガイドラインへ記載することを提案します。	御意見を踏まえ、ガイドラインに説明を追加しました(『EDINET タクソミ概要説明』の「2-5-2-10 監査報告書」を御参照。)
10	財務諸表本表タクソミ 国際会計基準タクソミ 開示府令タクソミ	英語ラベル	英語ラベルについて全体的な整合性を向上するための改善提案(計 24 項目)。	御意見を踏まえ、英語ラベルを更新しました(更新後の英語ラベルは、『EDINET タクソミ更新概要添付資料』を御参照。)